

**整備効果 1** 一般国道25号の渋滞が緩和され、生活の利便性が向上します。



**所要時間が約10分短縮** (幸前～三室交差点間)

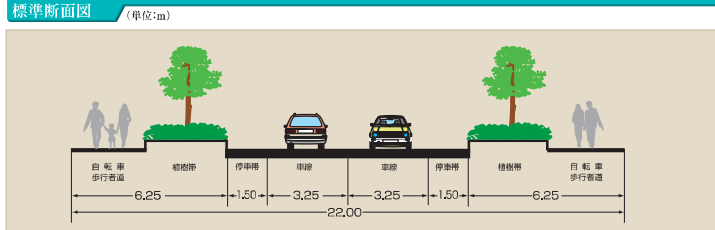
**整備効果 2** 一般国道25号や生活道路における交通の安全性向上が期待されます。



**整備効果 3** 一般国道25号の交通円滑化が見込まれ、観光振興への寄与が期待されます。



計画諸元		事業の経緯	
いかるがパークウェイ		年度	主な内容
路線名	一般国道25号	昭和42年	都市計画決定(奈良県生駒郡斑鳩町幸前～同隈田間) [L=4.7km、2車線]
区間(起点)	奈良県生駒郡斑鳩町幸前	47年	事業化
区間(終点)	奈良県生駒郡斑鳩町隈田	平成10年	用地買収着手
道路規格	第4種第1級	13年	モデル区間工事着手
延長	4.7km	14年	いかるがパークウェイ推進協議会を設置
標準幅員	22.0m	15年	奈良県生駒郡斑鳩町小吉田2丁目～同1丁目(モデル区間)開通[0.4km]
設計速度	60km/h	25年	奈良県生駒郡斑鳩町小吉田1丁目～同2丁目開通 [0.7km]
車線数	2車線	令和2年	奈良県生駒郡斑鳩町稲葉西1丁目～同2丁目開通 [0.4km]



**いかるがパークウェイの事業の進め方**

- 1 地元説明** 道路設計に必要な踏査測量の立ち入り承諾を得るため、道路の計画概要を説明します。
- 2 路線測量** 田畑、上などの地形、地盤の高さなどを測量し、設計図の元図を作成します。
- 3 設計協議** 既存する農道、水溝の線形・断面計画などについて、地元の方々と協議します。
- 4 道路設計** 地元との協議結果も踏まえ、工事実施のための道路設計を行います。
- 5 幅員設置** 地元にて、道路に必要な長を示すとともに、境界の立ち会いをおこない、ねら打って道路用地を確保します。
- 6 用地測量** 用地の面積を出すための測量を行います。
- 7 用地買収** 用地の半目録提示など、地権者の方々と用地交渉を行い買収します。
- 8 工事説明** 工事の進め方、安全対策などについて説明します。
- 9 工事実施** 関係法令を遵守し、工事を行います。
- 10 開通** 工事が完了すれば運行を開始します。
- 11 維持管理** 快適な走行を確保するため、道路の清掃など、適切に維持管理します。

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所  
 〒630-8115 奈良市大宮町3丁目5番11号  
 TEL. (0742) 391-1391 (代表)

道路の異状を発見したら  
 道路緊急ダイヤルへお知らせください。 #9910 24時間 無料受付

奈良国道ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/nara>

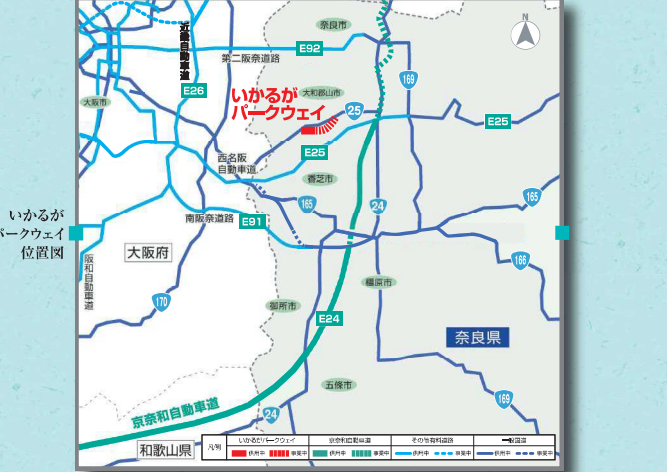
# 25 いかるがパークウェイ



国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

# Ikaruga Parkway

歴史と文化に調和した斑鳩らしい道づくりを。  
 一般国道25号は、三重県四日市市を起点とし、奈良県西和地域を経て、大阪府大阪市に至る延長約200kmの主要幹線道路です。  
 いかるがパークウェイは、斑鳩町市街部の交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした延長4.7kmの道路です。



**みなさまの声を大切に**  
 みなさんと共に道づくりを行っています。

**整備区間における現国道25号の状況**

- 国道25号の交通状況  
 斑鳩町内における一般国道25号は、21千台～25千台/日と交通量が多く多岐的な渋滞が発生しています。このような状況を受けた交通が、町道を抜け道として利用しており、周辺地区住民の安全対策が懸念されています。
- 沿道の交通安全  
 斑鳩町内における現国道25号の車道設置率は約5割にとどまっております。また、通学路に指定されている区間においても約1割が未整備という状態になっています。

いかるがパークウェイのテーマ

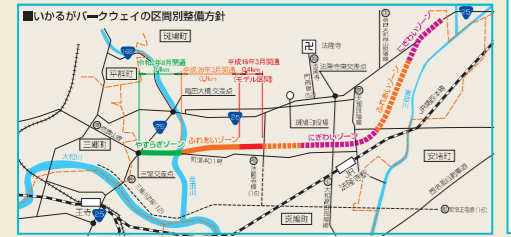
- 【メインテーマ】いかるがらしい、新しい道づくり
- 【サブテーマ】歴史・文化が 生きる
- 【サブテーマ】人への優しい、安全安心の道
- 【サブテーマ】自然豊かな、ゆとりある道

平成15年度にいかるがパークウェイの完成イメージをまとめた「モデル区間」が開通しました。また、開通1年後に実施した「モデル区間アンケート」では、各整備方針について一定の理解を頂き、引き続き、みなさまの意見を参考に整備計画の策定を行い「いかるがパークウェイ推進協議会」に盛りながら事業を進めてまいります。



いかるがパークウェイ モデル区間

平成16年3月に「いかるがパークウェイ」のモデル区間がオープンしました。  
この区間は「いかるがパークウェイ」全体の完成イメージを集約しており、住民のみなが実際に「見て」「ふれあって」「親しんで」いただくことができます。



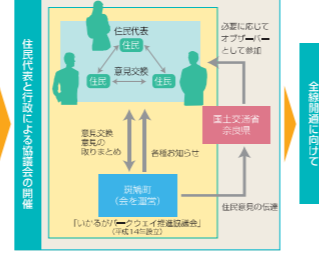
いかるがパークウェイの事業の進め方



モデル区間の「ふれあい」、「にぎわい」、「やすらぎ」、「中間」の各ゾーンを参考に「より良いまちづくり」について住民のみなが対話し、全体の景観について共に考えていきます。

モデル区間開通から1年が経過した平成17年4月に沿道全戸を対象とした「モデル区間アンケート」を実施し、沿道住民のみなが意見を頂きました。

実施内容	目的	対象者	アンケート調査方法	調査結果
モデル区間の整備について、開通1年後の姿をイメージしていただき、アンケートによる満足度の調査と意見の収集とすることにより、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。	1. 目的	2. 対象者	3. アンケート調査方法	4. 調査結果
	モデル区間の整備について、開通1年後の姿をイメージしていただき、アンケートによる満足度の調査と意見の収集とすることにより、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。	沿道全戸(約9,000世帯)	1. 沿道全戸(約9,000世帯)を対象としたアンケート調査を実施しました。	満足度は………86.1%と高い結果が得られました。



**ふれあいゾーン** 人と自然、人と人とのふれあいを促すゾーンです。

植栽 高木は地域を代表する高木種のサクラやモミジを用い、1日多のうっすい空間にします。植栽は季節感を演出し、四季を通じて景観に彩りを加えます。自然の材料を用いた、手さやしい玉砂利舗装を用います。グーシェを基本とすることにより、落ち葉のある感じを演出します。

舗装 高木は地域を代表する高木種のサクラやモミジを用い、1日多のうっすい空間にします。植栽は季節感を演出し、四季を通じて景観に彩りを加えます。自然の材料を用いた、手さやしい玉砂利舗装を用います。グーシェを基本とすることにより、落ち葉のある感じを演出します。

**中間ゾーン** 各ゾーンと比較するため「ふれあいゾーン」と「にぎわいゾーン」の中間的なゾーンです。

植栽 高木はシラカシノキを用います。

舗装 平板ブロック舗装を用います。



**やすらぎゾーン** 沿道の良好な住環境を保全するゾーンです。

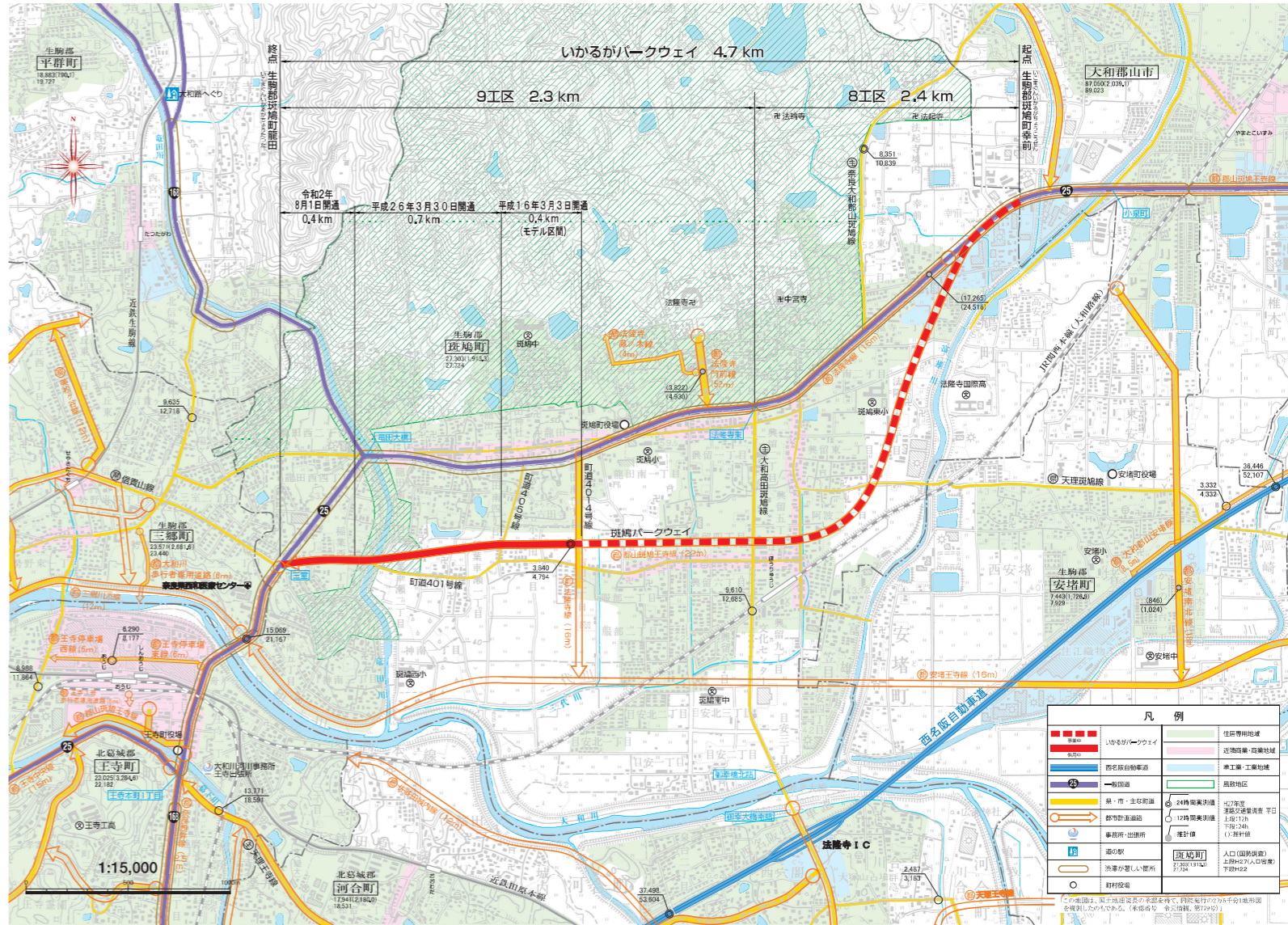
植栽 高木は電線沿いのマツノハシを用い、豊かな緑を演出します。低木は花咲き草やシラカシノキを用い、やすらぎを演出します。

舗装 自然の材料を用いた、手さやしい玉砂利舗装を用います。グーシェを基本とすることにより、落ち葉のある感じを演出します。

**にぎわいゾーン** 魅力で活気ある空間を演出・誘導するゾーンです。

植栽 高木は高木種のサクラやモミジを用い、1日多のうっすい空間にします。植栽は季節感を演出し、四季を通じて景観に彩りを加えます。自然の材料を用いた、手さやしい玉砂利舗装を用います。グーシェを基本とすることにより、落ち葉のある感じを演出します。

舗装 高木は高木種のサクラやモミジを用い、1日多のうっすい空間にします。植栽は季節感を演出し、四季を通じて景観に彩りを加えます。自然の材料を用いた、手さやしい玉砂利舗装を用います。グーシェを基本とすることにより、落ち葉のある感じを演出します。



この地図は、国土院院長の承認を得て、国土院の作成した地形図を複製したものである。(承認番号 国土院発 第179号)